

アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況（17年4月～9月）

「進捗状況及び進捗状況に対する分析、評価、今後の課題」

項 目	17年4月～9月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化		
(1) 創業・新事業支援機能等の強化		
①融資審査態勢の強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別担当者2名が「目利き業種別経営支援講座」を受講修了しました。(17年9月) ・創業・新事業支援等の強化 創業・新事業・経営革新支援制度融資実行 34件 326,700千円 (うち「新進企営」 10件 57,000千円) 内訳・サービス業 9件 100,000千円 ・飲食業 12件 93,600千円 ・不動産業 1件 4,000千円 ・小売業 6件 33,100千円 ・製造業 5件 91,000千円 ・運輸業 1件 5,000千円 ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加しました。(17年10月) ・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」を5回開催しました。 ・創業・新事業モニタリング先 20先 ・営業店との連携による企業訪問を実施しました。 審査担当者5名 企業訪問合計数 48先 ・営業店統括に「法人担当」を配置しました。(17年4月) 法人担当融資開拓実績 10件 815,000千円 内訳・建築業 4件 405,000千円 ・製造業 2件 100,000千円 ・小卸売業 3件 280,000千円 ・運輸業 1件 30,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、事業創業者のビジネスプランのプレゼンテーションを通し融資先として3先認定しました。今後も「目利き」能力を高めるため参加します。 ・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」を5回開催し、7先融資先として認定しました。 ・営業店との連携による企業訪問を下期より実施し、経営者面談による「目利き」能力の向上を図っています。 ・外部研修の「企業調査講習会」に10月、12月に参加し、審査能力を高めます。 ・企業の多様な資金需要に対応するため営業店統括に「法人担当」を配置しました。また営業店渉外役席を対象に帯同訪問による法人開拓研修を実施しています。
②産学官の更なる連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸ライフケアクラスター研究会 (HLC)」の総会に当金庫役員が参加しました。(17年6月) ・「北陸地区産業クラスターサポート金融会議」に参加しました。(17年6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸ライフケアクラスター研究会 (HLC)」を通し人材派遣を実施しましたが、ベンチャー企業への融資支援については、今後の新商品の発売により対応します。
③地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関等の連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉医療機構」と業務提携を行いました。(17年5月) ・「中小企業基盤整備機構」と業務連携を行いました。(17年8月) ・県商工会連合会と「商工貯蓄共済制度に係る改正」について会合を行いました。(17年7月、9月、10月) ・石川県信用保証協会主催の「マル保融資と実務セミナー」に参加しました。(17年5月) ・信金中央金庫主催の「SDBセミナー」に参加しました。(17年5月) ・住宅金融公庫の「延滞整理会議」に参加しました。(17年6月) ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加しました。(17年10月) ・当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。 <p style="text-align: center;">於：県産業展示館3号館（17年10月） 出展企業・団体138社、フェア参加者約2,800名、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との提携を予定どおり実施しました。今後も連携を密にして積極的に取組みます。 ・外部機関等の主催するセミナーや交流会に積極的に参加し、今後も継続していきます。 ・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、事業創業者のビジネスプランのプレゼンテーションを通し融資先として3先認定しました。今後も「目利き」能力を高めるため参加します。 ・「きんしんビジネスフェア2005」については出展企業間の商談、成約等に予想を超える成果がありました。今後は継続的にフォローアップ、モニタリングを行いビジネスマッチング活動を定着させていきます。

項 目	17年4月～9月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化		
①中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「中小企業基盤整備機構」と業務連携を行いました。(17年8月) ・支店長、渉外代理を対象としたビジネスマッチングコーディネーター研修会を実施しました。(17年6月) ・当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。 <p style="text-align: center;">於：県産業展示館3号館（17年10月） 出展企業・団体138社、フェア参加者約2,800名、 商談件数1,688件、成約件数106件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京ビジネスサミット」に3社合同出展しました。(17年11月) ・「M&Aセミナー」を開催しました。(17年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きんしんビジネスフェア2005」については出展企業間の商談、成約等に予想を超える成果がありました。今後は継続的にフォローアップ、モニタリングを行いビジネスマッチング活動を定着させていきます。
②中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得のため、経営改善セミナーを開催し22名が受講しています。(17年10月) ・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」、「融資渉外講座」、「企業分析講座」に各々2名が参加しました。(17年5月～10月) ・中小企業大学の入学試験に2名が受験しました。(17年7月) ・中小企業診断士資格取得のための通信講座を奨励しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善セミナーでは、各自の取組み企業の改善計画書を策定しています。今後、講師による受講者への積極的な指導を行い、経営改善の支援能力を高めていきます。 ・北陸地区信用金庫協会主催の研修には若手職員が主に参加し、経営改善支援・「目利き」能力向上に努めました。 ・中小企業診断士試験一次合格者に対し、今後も中小企業大学校入学試験受験を奨励します。
③要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化及び実績の公表等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援室に中小企業診断士（金庫内）を配置しました。(17年9月) ・企業支援先を139先認定しました。うち経営改善計画書の策定先は50先です。 ・企業再生委員会にて予算実績管理の検証を22先実施し、内3先について再策定の指示を行いました。 ・支援企業先経営者との直接面談を10先先行いモニタリングを実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士の配置によって、より精緻な経営改善計画書の策定、モニタリングの指導強化が図られます。 ・経営支援室担当者と営業店長の帯同訪問により経営者と面談し、実態把握とキャッシュフローを中心とした財務内容のモニタリングを実施しました。 ・企業再生委員会では、企業支援先の予実管理表に基づき専門的なモニタリングを行い、営業店に具体的な指導・支援を行っています。 ・経営改善計画書の早期策定にあたっては、経営支援室・営業店一体となって、経営者の意識改革と理解を求め、策定のサポート・指導を行っています。
(3) 事業再生に向けた積極的取組み		
①事業再生の早期着手に向けた取組みの促進及び多様な事業再生手法の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、研修会を開催しました。(17年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・DDSの実務知識習得のために営業店長、本部融資担当者を対象とした研修会を開催しました。 ・事業再生ファンドについては外部機関からの業務提携要請があり、再生手法の多様化からも導入に向けて検討します。

項 目	17年4月～9月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
②外部機関の事業再生機能の一層の活用及び金融実務に係る専門的人材・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・RCC債権の肩代り融資の実績は4件で、うち中小企業再生支援協会等と連携した先は3件でした。 融資実績 4件 418百万円 うち、中小企業金融公庫との協調融資（加賀温泉の再生案件） 1件 275百万円 ・「中小企業基盤整備機構」との連携交流（説明会）を実施しました。（17年8月） ・㈱整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、研修会を開催しました。（17年8月） ・外部の経営コンサルタントを招き経営改善の手法等、経営改善セミナーを開催しています。（17年10月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協会との連携強化については当金庫紹介による再生案件の実績もあり、今後も連携を密にして積極的に活用していきます。 ・RCC債権譲渡先の肩代りは4件の実績で、うち1件は加賀温泉旅館への取組みでした。㈱整理回収機構の講師による「企業再生業務・RCCの活用」の研修会以後、取組み案件は増加しており、今後も再生可能と判断される先については、外部機関と連携し積極的に対応していきます。 ・外部経営コンサルタント等による、金融実務、経営改善手法等の研修会を継続し、「目利き」能力の向上を図ります。 ・外部の専門家を招き、お客様を主体とした金融実務の研修会を開催します。
③再生企業に対する支援融資の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・DIPファイナンス、エグジットファイナンスの導入に向けて、知識習得に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関から要請があれば、積極的に対応します。 ・外部研修には今後も積極的に参加します。
④再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・融資実務担当者に対して企業再生事例を紹介する研修会を開催しました。（17年6月） ・㈱整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、研修会を開催しました。（17年10月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接再生支援に携わる営業店長や融資実務担当者等に対し、重点的に研修会を開催しています。 ・成功事例を収集し活用する事により、融資実務担当者のスキルアップに努めていきます。 ・事業再生の取組み意識を高めるために、研修会の内容を営業店内で周知するよう努めていきます。 ・外部講師を招き、「企業再生業務・RCCの活用」「CLO」「DES・DDS」について、営業店長、本部融資担当者を対象とした研修会を開催し、積極的な取組みと導入に向けての知識の習得に努めました。
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等		
①担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援商品「新進企営」実績 10件 57百万円 ・第三者保証なしの「サポートファンド保証」実績 36件 532百万円 ・保証極度額（新保証制度）の設定基準について研修会を開催しました。（17年6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援商品「新進企営」は、目標20件200百万円に対し、件数では50%、金額では28%の実績です。今後も創業・新事業へのアドバイス・相談等のマインドを高め、一層の推進を図っていきます。 ・第三者保証なしの「サポートファンド保証」を継続して推進します。 ・新保証制度の主旨、保証極度額の設定基準等についての研修会を開催し日常業務の中で指導を継続していきます。
②中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛債権担保貸付融資実績 19件 321百万円 ・きんしん北陸税理士会提携ローン実績 2件 20百万円 ・TKC経営者ローン実績 3件 23百万円 ・シンジケートローン実績 1件 200百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛債権担保貸付融資制度の推進については低調な実績でした。今後、営業店の業績評価の対象とし、積極的な取組みを指導していきます。 ・私募債の推進についてはメイン先を絞り込み、積極的に取組みます。 ・「きんしん北陸税理士会提携ローン」「TKC経営者ローン」の推進については第三者保証人を必要としない融資制度として、今後も積極的に取組みます。 ・シンジケートローンについては、他金融機関と連携し積極的に取組みます。

項 目	17年4月～9月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<p>(お客様への説明態勢の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与信取引の適切な説明態勢を強化するため、相互牽制条項を盛り込んだチェックリストの改定を検討しています。 <p>(苦情案件等の処理について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付けた苦情案件等については、発生要因を分析し、「不祥事件対策委員会」「事務リスク委員会」等で未然防止、再発防止策を検討しました。 ・苦情案件等の再発防止に向けた取組みについては、営業店の臨店指導やコンプライアンス研修会を開催しました。 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を2回開催しました。(17年5月、9月) ・「ご意見箱」「目やす封書」を全営業店に設置し、お客様の幅広いご意見を業務に適切に反映させています。 ・「地域金融円滑化会議」に出席しました。(17年9月) 第9回 各業界団体から寄せられた苦情・相談等事例の分析、対応・処理状況等の報告について。 	<p>(お客様への説明態勢の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与信取引時のチェック機能を高めるため保証意思確認を兼ねたチェックリストの作成を検討します。 <p>(苦情案件等の処理について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部店に苦情案件等の発生事例を開示し、再発防止のための「コンプライアンス便り」を17年度下期以降定期的に発行する準備を進めています。 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修では、苦情事例の開示を行い職員の問題意識や対応能力を高め再発防止を図りました。
(6) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」、「融資渉外講座」、「企業分析講座」に各々2名が参加しました。(17年5月～10月) ・中小企業大学の入学試験に2名受験しました。(17年7月) ・中小企業診断士資格取得のための通信講座を奨励しています。 ・「経営支援アドバイザー(当金庫認定)」資格取得のため、経営改善セミナーを開催し22名が受講しています。(17年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の自己啓発ガイドの内容を見直し、企業支援能力向上に繋がる講座の充実を検討します。 ・北陸地区信用金庫協会主催の研修には若手職員が主に参加し、経営改善支援・「目利き」能力向上に努めました。 ・中小企業診断士試験一次合格者に対し中小企業大学校入学試験受験を斡旋します。 ・経営改善セミナーでは、各自の取組み企業の改善計画書を策定しています。今後、講師による受講者への積極的な指導を行い、経営改善の支援能力を高めていきます。
2. 経営力の強化		
(1) リスク管理態勢の充実	<p>(信用リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口先の与信ポートフォリオ分析の項目及び書式を定め、分析を行いました。また、大口先だけではなく当金庫の与信全体に対するポートフォリオ分析も行い、信用リスク委員会及び常務会に報告しました。 <p>(市場リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金利リスク及び価格変動リスク等の市場関連主要リスクに係る「市場関連リスク主要指標推移表」を作成してこれらを一元的に管理し、市場リスク委員会で検証を行っています。 <p>(オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務リスク委員会にオペレーショナルリスクの概要を説明しました。損失データを収集・蓄積するために、過去3年間の情報を時系列に分類・整理する方法を検討しています。 <p>(統合リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用リスク及び市場関連リスクはVaRで、オペレーショナルリスクは新BIS基準の基礎的指標手法でそれぞれリスク限度額を算出しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合リスク管理は、まだ試行の段階であり、今後本格的な運用に向け検討を重ねていく必要があります。

項 目	17年4月～9月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積した倒産確率データを整理・分析し、リスク管理、収益管理に活用する準備を行っています。 ・18年度導入に向け、「リスク調整後収益管理システム」の設計・開発を行っています。 ・経営改善計画書等の活用によりお客様への指導・支援を強化し、ランクアップに努めています。 ・18年度上期導入予定の「企業格付制度」を、信用リスク委員会にて検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リスク調整後収益管理システム」の仕様書作成、営業店指導を実施・徹底することが課題です。 ・自己査定と企業格付の整合性を高めるための各種手法を検討しています。
(3) ガバナンスの強化		
①総代会の機能強化に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・総代氏名のディスクロージャー誌への開示にあたり、個人情報保護法に留意し「利用目的の同意書」の徴求を行いました。(全総代163名より徴求) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用目的の同意書」の主旨について総代にご理解を頂き、当初の計画通り実施しました。 ・「会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の施行(18年度)に伴う信用金庫法の一部改正により、「書面による議決権行使」、「電磁的方法による議決権行使」、「総会招集の手続きの変更」等の検討が今後の課題です。
②半期の開示	<ul style="list-style-type: none"> ・18年3月期における半期情報を、11月に店頭およびホームページにて開示しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度に係る半期情報開示は、分かりやすくかつ内容をより充実します。
(4) 法令遵守(コンプライアンス)態勢の強化		
①営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンス等小委員会」を開催しました。(17年4月) ・代表役員3名が上期に全営業店を訪問し、直接職員と意見交換を行い、コンプライアンスに関する認識を高めるための指導を行いました。 ・ACO(アシスタントコンプライアンスオフィサー)・SCO(シニアコンプライアンスオフィサー)の資格取得と人材育成について 取得実績 17年度 SCO15名、ACO10名 合計25名取得 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を2回開催しました。(17年5月、9月) ・コンプライアンスに関する臨店指導を行い、研修の実施状況、「情報・相談ごと連絡票(事務ミスを含む)」の運用状況等の検証と指導を行いました。 ・心の問題のケア対策については、当金庫職員と外部委託した「産業カウンセラー」2名で全営業店を一巡し、個人面接によるカウンセリングを実施しました。(17年6月～9月) ・各部署毎の「コンプライアンス・マニュアル」を策定しました。(17年6月) ・「指定休暇時の業務監査」については立会人を設け、厳格に実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンプライアンス等小委員会」を2回開催し、具体的な問題について検討しました。 ・代表役員の営業店訪問によって、代表役員と職員の一体感とコンプライアンスに対する意識が高まりました。今後も継続して実施します。 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修では、苦情事例の開示を行い職員の問題意識や対応能力を高め再発防止を図りました。 ・コンプライアンスに関する臨店指導については、再度実態を把握し効果的な指導を実施する計画です。 ・各部署毎の「コンプライアンス・マニュアル」の内容の検証と指導を行い、業務監査やリーガルチェック機能の充実を図っていきます。

項 目	17年4月～9月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
②適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報管理台帳を全部店で作成しました。 ・個人情報管理態勢に係る一斉点検を実施しました。(17年5月) ・「個人情報監査チェックシート」を作成し、これを基に個人情報管理態勢に係る監査を総合監査の一環として実施しています。 ・私物カバンの執務スペース内への持込を禁止しました。 ・カメラ付携帯電話の執務スペース内での使用を禁止しました。 ・携帯電話へのお客様情報の登録を原則禁止しました。 ・個人情報に係る事務取扱いの「Q & A」を作成し、各部店で常時閲覧可能なものにしました。 ・パソコンのアクセスログの管理・分析を行っています。 ・外部へ発信するメールはすべて本部にて集中監視を行っています。 ・F A X 誤送信防止のためのシステム導入に向け、より良いシステムを検討中であり、今年度中の導入を目指しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護に係る安全管理態勢は概ね整備されたと思われませんが、今後も不十分な点の改善や全職員に対する継続的な教育・研修を通じて漏洩事故等が起こらないように努めます。
(5) ITの戦略的活用	<p>(次期システムの導入)</p> <p>10月から始まる営業店端末研修に向け、オンラインプログラム開発を優先して進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインプログラムは要件定義がほぼ終了しました。プログラム開発は打ち込みテスト及び結合テストが7月から始まり、9月からは当金庫側での端末検証を実施しています。 ・バッチ帳票は新規・改造帳票の確認レビューを終了し、プログラムの設計及び開発へと進めています。 ・口座振替は全委託者のデータ収集と平行して、8月よりテストを実施しています。 ・データベース移行は6月より9月までに4回実施しており、この中で移行処理プログラムの正当性の確認、移行項目の妥当性のチェックなどを実施しています。また、移行後のデータベースに対してオンライン照会等による検証を行い移行データの内容の充実を図っています。 <p>(渉外支援システムの更改)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月から一般渉外係向けに携帯情報端末を5店舗に展開し、試行を行いました。7月下旬から9月上旬にかけて全店に携帯情報端末を順次展開し、9月末までを試行期間として10月より本格稼働しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期システムは尼崎信用金庫との共同アウトソーシングで、両金庫の歩調を合わせて進めています。その中でコストの削減に向けたシステムの共通化を進めています。 ・システム更改の万全を期すため、端末検証はプログラムの正常な作動確認と操作、運用等を重視していきます。
(6) 協同組織中央機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫の「経営効率分析」を受けて、自己資本、資産内容、経営基盤の内容を、全国（規模別）及び北陸地区の指標との対比により分析を行いました。(17年10月) ・信金中央金庫の「ポートフォリオ分析」について、代表役員等を交えた意見交換会を実施しました。(17年11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も信金中央金庫の情報を有効に活用し、幅広い分野で連携を図っていきます。

項 目	17年4月～9月の進捗状況	進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
3. 地域の利用者の利便性向上		
(1) 地域貢献等に関する情報開示		
①地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO認証取得と「賑わい回廊ミュージアムきんしん」についてディスクロージャー誌に掲載しました。(17年8月) ・ ISO認証取得の仲介業務等の内容をホームページに開示しました。(17年11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページに、「環境方針」として融資商品の開発等の基本方針を公表しています。
②充実した分かりやすい情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針等、環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示しました。(17年5月) ・ 地域貢献活動の内容をミニディスクロージャー誌に開示しました。(17年6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に関する基本理念、基本方針を「環境方針」として公表しています。 ・ 地域貢献に関する開示についてはミニディスクロージャー誌にリレーションシップバンキングの取組みの概要を掲載しました。
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ご意見箱」「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示しました。(17年5月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月「ご意見箱」「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示し、業務改善に取り組んでいます。 ・ お客様満足度に関するアンケート（CS調査）の内容等を検討し、お客様のご意見をより経営に反映させる仕組みを構築します。
(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工（会）会議所等との提携ローン取扱いについては以下の通り実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> 17年7月取扱開始 <ul style="list-style-type: none"> 金沢商工会議所提携ローン 白山商工会議所提携ローン 小松商工会議所提携ローン 加賀商工会議所提携ローン 17年8月取扱開始 <ul style="list-style-type: none"> 砺波商工会議所提携ローン 石川県商工会連合会提携ローン 17年9月取扱開始 <ul style="list-style-type: none"> 富山県商工会連合会提携ローン ・ 「石川県産業革新戦略」についての認識高揚についての研修会を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> 演題 『石川県産業革新戦略 石川県地域経済圏構想 ～内なる高度集積と外への飛躍的展開～』 講師 石川県商工労働部 ・ 「石川県産学連携コーディネーター協議会」へオブザーバーとして参加しました。(17年7月、11月) ・ 「北陸地域新連携事業意見交換会」へ参加しました。(17年8月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集、情報交換、知識習得等を実践していますが、地域の活性化と再生に繋がるよう継続していく必要があると思われます。また、各種提携ローンのトレースも行っています。